



海軍軍醫中監六位勲五等朝倉亮五郎
特旨ヲ以テ位一級被進
正六位勲五等朝倉亮五郎

敘從五位

右謹テ奏ス

明治三十四年二月二十六日

内

閣

内閣總理大臣侯爵伊藤博文

明治廿四年二月廿六日

内閣書記官

明治廿四年二月廿六日

内閣書記官

内閣總理大臣

内閣書記官

海軍軍醫中監正六位勲五等朝倉
亮五郎ハ高等官在職滿十年以
上ニシテ勤勞不尠矣且目下病氣危
篤ノ趣ニ付叙位進階内則第四條ニ
依リ特旨ヲ以テ位一級進メラレ然ルハシ

内

朝倉海軍軍醫中監ハ明治十六年八月
海軍少軍醫ニ任セラレ爾來軍務ニ
従事スルニ十有九年其間各艦船廳
ニ在リ能ク其擔務ヲ舉テ職務精勵殊ニ二
十七八年戰役ニ関シテハ西京九軍醫長ノ
職ニ在リ從軍シ其功績顯著タル者ニ
候處過般來疾病ニ罹リ療養中終ニ
危篤ニ陥リ到底存命覺束ヲクテ又武
官敘位進階内則第四條ニ依リ特ニ位一級
進シテ度別紙上奏書進達ス
明治三十五年三月廿日 海軍大臣 山本權兵衛 奏

海軍

内閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

海軍軍醫中監正六位勲五等朝倉亮五郎

敘從五位
右謹奏

明治三十四年二月廿六日

海軍大臣山本權兵衛



海軍

(江戸川印)